

## 平成 15 年度第 2 回日本海漁況予報

### 「平成 15 年度日本海さば類・マイワシ・ブリ長期漁況予報」

別表の水産関係機関が検討し独立行政法人水産総合研究センター  
日本海区水産研究所がとりまとめた結果

#### 今後の見通し(2003 年 11 月 - 2004 年 3 月)

##### さば類(島根県 - 新潟県)

来遊資源量は、西部海域では前年並みかこれを上回り、中部以北海域では前年を下回る。

##### マイワシ(島根県 - 新潟県)

来遊は引き続き低調な推移を示し、散発的な漁獲となる。

##### ブリ(兵庫県 - 新潟県)

各年級の来遊状況は以下のとおり：

0 歳魚は前年並みとなる。1 歳魚は前年を上回る。

2 歳以上魚は前年並みとなる。

1. 本予報は水産庁のホームページ (<http://www.jfa.affrc.go.jp/>) 及び水産総合研究センターにおける我が国周辺水域資源調査等推進対策委託事業のホームページ(<http://abchan.job.affrc.go.jp>) に掲載されます。なお、本予報については、日本海区水産研究所のホームページ (<http://www.jsnf.affrc.go.jp>) からアクセスできます。
2. 本予報の内容等に関する問い合わせ先は、以下のとおりです。  
水産庁増殖推進部漁場資源課沿岸資源班 担当：竹葉、狭間  
住所：〒100-8907 東京都千代田区霞ヶ関 1-2-1  
電話：03-3502-8111 (内線 7376) 直通：03-3501-5098  
ファックス：03-3592-0759  
電子メール：toru\_hazama@nm.affrc.go.jp  
(独)水産総合研究センター日本海区水産研究所企画連絡室  
住所：〒951-8121 新潟市水道町 1 丁目 5939-22  
電話：025-228-0451 ファックス：025-224-0950  
電子メール：fra-jki@ml.affrc.go.jp

## 参 加 機 関

島根県水産試験場	山形県水産試験場
鳥取県水産試験場	秋田県水産振興センター
兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター	青森県水産総合研究センター
京都府立海洋センター	(社)漁業情報サービスセンター
福井県水産試験場	水産庁漁場資源課
石川県水産総合センター	西海区水産研究所
富山県水産試験場	日本海区水産研究所
新潟県水産海洋研究所	

## 日本海さば類・マイワシ・ブリの漁況予報

今後の見通し（2003（平成15）年11月 - 2004（平成16）年3月）

### 1. さば類（島根県 - 新潟県）

日本海西部海域では、0歳魚（2003年級）・1歳魚（2002年級）を主体とした漁獲がみられ、来遊資源量は前年同期並みかこれを上回る。中部以北海域でも主体は0歳及び1歳であり、来遊資源量は前年を下回る。中部以北の沿岸域では、前年並み以上の来遊がある。

### 2. マイワシ（島根県 - 新潟県）

この期間、マイワシの来遊は引き続き低調な推移を示し、漁獲は散発的になる。

### 3. ブリ（兵庫県 - 新潟県）

各年級の来遊は以下のとおりである。

体長30 - 45cmの0歳魚（2003年級）：前年並みとなる。

体長50 - 65cmの1歳魚（2002年級）：前年同期を上回る。

体長70cm以上の2歳以上魚（2001年およびそれ以前の年級）：前年並みとなる。ただし、2001年級（5 - 6kgの中ブリ）が主体となり、2000年級以前の大ブリは期待できない。

漁況の経過（2003（平成15）年1月 - 9月）及び見通しについての説明

### 1. さば類（図1）

2003年1 - 9月の経過

日本海で漁獲されるさば類は対馬暖流系資源の一部であり、その動向は東シナ海域の資源状態と密接に関わっていると思われる。2000年以降のさば類の資源水準は1990年代に比べてやや低めとなっている。「漁業・養殖業生産統計年報」によれば、日本海における漁獲量は、2000年に44千トン、2001年に35千トンであった。

2003年1月 - 2003年9月における日本海主要港（島根県 - 新潟県）への水揚げ量は約14,600トンであり、前年同期を上回った（前年比約125%）。府県別では、鳥取県及び島根県（まき網）で全域の7割以上となる10,900トンが水揚げされ、1-2月及び9月には前年を上回る漁獲がみられた。中部以北におけるまき網漁業（主に石川県、新潟県）は

低調な漁況で推移したが、定置網（兵庫県以北）では堅調な漁模様だった。

漁獲の主体は、ほぼ全域で小さいサイズのマサバだった。日本海西部では、冬から春先にかけては体長 25cm 前後の 1 歳魚（2002 年級）が多く、夏季には 10-15cm の 0 歳魚（2003 年級）の加入がみられた。

#### 年級の豊度

日本海におけるさば類の漁獲量は 1994 年以降減少傾向にある。対馬暖流系における 2002 年級は 2001 年級に比べて増加が認められるものの、依然低い水準にとどまっている。2003 年級の加入実態ははっきりしないが、2002 年級より高いものとみられる。

#### 日本海中部以北海域場について

中部以北海域における漁獲はここ数年減少傾向にある。2001 年以降、まき網漁業の漁獲量が減少しつつあり、今年 11 月から来春にかけて、この海域の漁況が好転するとは予想できない。

#### 海況について

日本海区水産研究所によってとりまとめられた海況予報によれば、2003 年 10 月 - 12 月、対馬暖流域の表面水温及び 50m 深水温は、いずれも平年並みと予想されている。山陰及び若狭沖には、今年 6 月に規模の大きな冷水域が接岸し、今年 12 月までの期間、その張り出しは強い。また、島根沖の冷水域の張り出しは弱いという。全般的には漁況に与える影響は少ないと思われるが、今後の動向を注意深く見守る必要がある。

## 2. マイワシ（図 2）

#### 2003 年 1 - 9 月の経過

この期間における日本海主要港（島根県 - 新潟県）への水揚げ量は約 650 トンであった。日本海におけるマイワシの漁獲量は 1993 年以降減少傾向が続き、2001 年はその前

年（2000年）同期の7%にまで落ち込んだ。2002年は2001年の217%、今年は9月までに同じく前年の155%と、漁獲量としては2001年より増加した。しかし、その漁獲は依然散発的で、低いレベルにとどまっている。

漁獲が極端に少なく、魚体サイズについての傾向は不明である。

#### 年級の豊度

マイワシ資源は極めて低位の状態が続いている。2003年級の加入も見られているが、その水準は低い。

### 3. プリ（図3）

#### 2003年1-9月の経過

この期間における日本海特定定置網（新潟県 - 兵庫県）への水揚げ量は約3,696トンであり、前年同期を上回った（前年比約143%）。府県別では、石川県から兵庫県では4-6月に前年を上回る漁獲がみられたが、新潟県、富山県では前年を下回る漁模様が続いた。

ほぼ全域において、2002年級の漁獲が多かった。能登半島以西の日本海中部では、春先から夏にかけては体長50-65cmの2001年級および約45cmの2002年級が多く、8月には福井県から京都府で2002年級が特に多く漁獲された。一方、日本海中部全域で約30cmの2003年級の加入が遅れ、9月になって能登半島以西の日本海中部および富山県で前年を上回る漁獲があった。

#### 年級の豊度

モジャコの漁況や9月までの漁模様から、0歳魚（2003年級）の資源水準は前年と同程度で、近年<sup>[TY1]</sup>の0歳魚の資源水準に比較すると低いと判断される。来遊量指数や9月までの漁況から、1歳魚（2002年級）の資源水準は中位と判断されるが、2001年級に

比較すると高い水準である。また、来遊量指数の推移から 2 歳魚（2001 年級）の資源水準は中位と判断されるが、3 歳魚（2000 年級）の資源水準は低いと考えられる。

#### 海況の予測について

海況予報によると佐渡島沖冷水の張り出しはやや弱く、山陰・若狭冷水の張り出しは強い見込み。したがって新潟・富山の両県および石川県内浦沿岸の定置網にブリが入網する海況条件は平年よりやや劣り、福井県～兵庫県ではやや良いと考えられる。

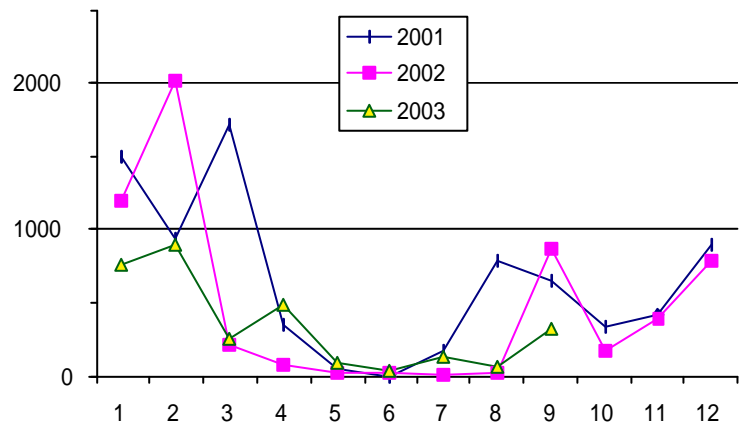
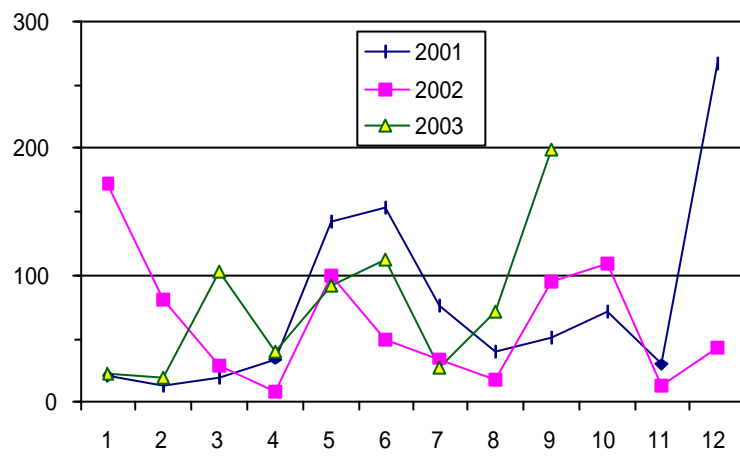
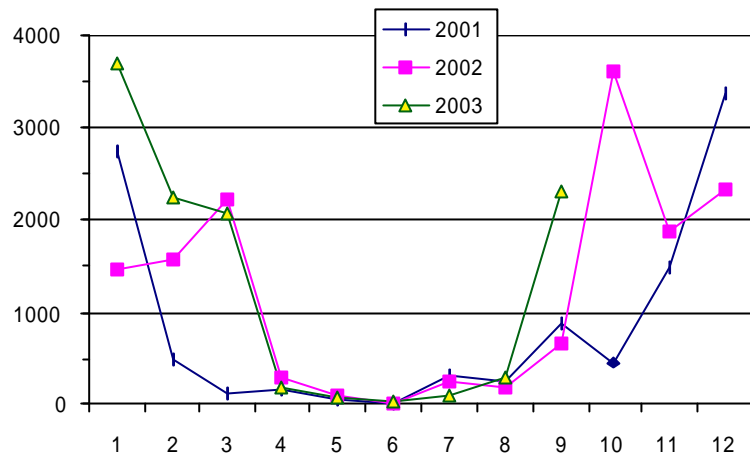


図1 月別漁獲量の推移（さば類：2001-2003年）  
 上：島根県 - 鳥取県（まき網）  
 中：兵庫県 - 新潟県（定置網）  
 下：兵庫県 - 新潟県（まき網：定置網以外を集計）  
 縦軸：漁獲量（トン）、横軸：月

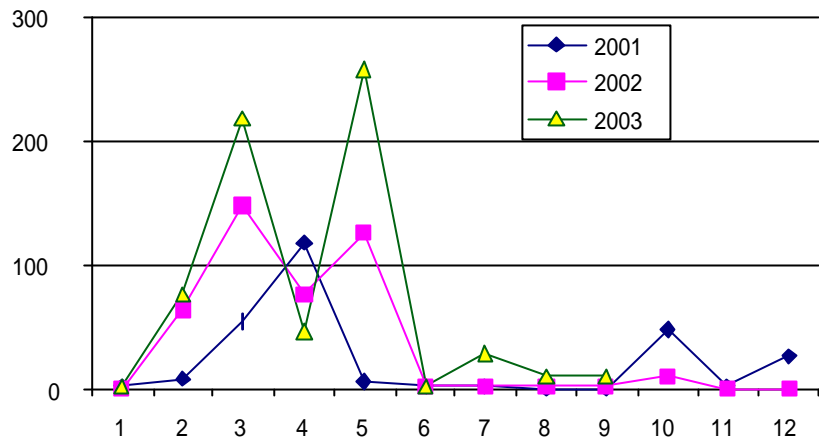


図2 月別漁獲量の推移（マイワシ：2001-2003年）  
縦軸：漁獲量（トン） 横軸：月

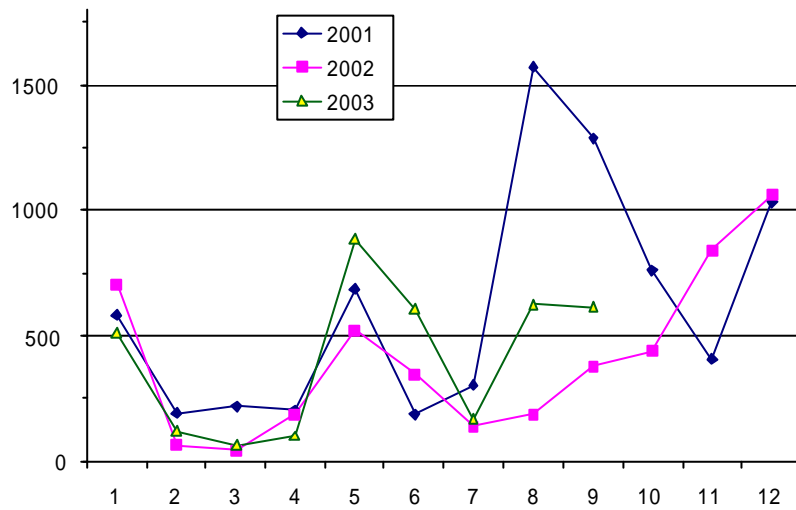


図3 特定定置網月別漁獲量（ブリ：2001-2003年）  
兵庫 - 新潟県の集計 / 縦軸：漁獲量（トン） 横軸：月



ページ :5

[TY1]近年は 1993~2002 年までの 10 年平均